

# トキは、いま……

54. 10A-SA06

## 「たった7羽のゆくえ」

トキは昔からこんなに少なかったわけではなく、江戸時代には北海道から九州まで、日本中に棲んでいました。それがどうして7羽になったのか……朱鷺色というこの鳥独特の美しい羽毛が狙われたことや、白くて目立つでの鉢砲的になったことなど、明治維新後の政治・宗教の秩序が混乱した時代、私たちの二世以前の人々に殺されたのが大きな原因です。では、いまこうして保護しているのなぜ増えないか……

トキは特別天然記念物ですが、国が直接に保護・管理をするようになつてない文化財保護法（環境保護のための環境政策の実現をめざす法律）の制定が、かえつて積極的な保護策をはばむ結果になりました。それでも私たちには手をこまねいていなければならぬので、これだけの数になつてしまつたら保繁は親鳥を捕えて人工的に管理して増やす」として人工的管理の必要性が高めます。

野生のままで保護するにはあまり数が少なく、放つておいては近親交配による劣化が進み、やがては絶滅の可能性があります。この保護策については、さまざま

**トキ（トキ科）**  
学名：*Ciconia ciconia* 本邦白色が淡い灰色だが、翼の裏や尾羽は濃い紅赤色（いわゆるトキ色）。赤い脚、黒くて長い嘴。学名「ニッポニア・ニッポン」が示すように、日本が主な生息地ありますから、現在確認はたった7羽（うち1羽は飼育）。現在では新潟県の佐渡だけにしかいない。国際保護鳥・特別天然記念物・特種鳥類。

## トキの未来は日本人の手に

しかし、絶滅の危機にある生物に手をさしのべ、自然環境の保持に努めるのは人間にとって当然の義務であり、トキという、現実に日本で危機を迎える野鳥であれば、日本人としてやらなければならないあたりまでの義務だと考えます。

生物界には「種」の消長があり、その歳月はきわめて長時間にわたります。ヒトが出現する前ならともかく、生物が減んだ事実は5000年前から多くなり、とくにこの2000年間はひどい状態になりました。これに気づいた先進国は、野鳥保護のための努力を続けています。経済大国ではあつても自然保護小国の中日本は、すぐにもそれを実行すべきでしょう。

いま、トキの将来を世界中が注目しています。それは、日本人の自然保護を見つめる鋭いまなざしです。が成功するといふ保証はどこにありますか？



**法人日本鳥類保護連盟  
サントリー株式会社**

## トリからのメッセージ 76

●トキは、いま……（新しい自然シリーズ）ハンドレーフ。80×80cmでございます。①麻に小鳥を一野鳥を見に一野鳥観察や探鳥会の入門書として最適。

②自然の中で一日自然のしくみ、鳥との間わりなどをマンガ中心に展開。各話いすれも1冊送料込み300円です。ご希望の方は代金を郵便で、誌名明記のうえ申込ください。

宛先：〒163-91 東京都日本橋区内私書箱231号 サントリー株式会社 鳥類キャンペーン部

●トキの保護についてのご意見を郵便でお寄せください。宛先：〒150 東京都渋谷区南平台町8-20 日本鳥類保護連盟

